

二〇二六年度

入学試験問題

(二月二日午前)

国語

- 一 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 二 開始の合図があったら、最初に問題用紙六ページ、**解答用紙二枚**を確認してください。
- 三 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 四 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは、声を出さずに手をあげてください。
- 五 字数が指定されている問題は、記号・句読点も一字として数えてください。
- 六 問題用紙は回収しません。
- 七 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 八 試験時間は五十分です。終了五分前になったら知らせます。
- 九 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（なお、作問の都合上、省略・変更した部分があります。）

一般的に職場というものは、毎日同じ場所・同じ仲間で構成されています。だからこそ、その中でうまく仕事を続けていくにはどうすればよいかということは重要なテーマです。

宇宙で仕事をすることは、まさに「同じ場所」「同じ仲間」で仕事をし続けるということなので、そうした環境が「ストレスにならなかったのか」とよく聞かれます。

食事に外に出ることもできないし、毎日「帰宅」することもできない。職場に泊まり込みの日々です。1日2日であれば、経験がある方も多いかもしれませんが、国際宇宙ステーションの長期滞在では半年近く「泊まり込み」ます。

でも、幸い①私は大丈夫でした。外へ食事に行けないということなどは、元々大丈夫な方で、ロシアに滞在して訓練しているときも、週末になっても特に外に出かけず、ゆっくりと過ごすことが多くありました。外出するのは生活に必要なものを買うときくらいでしょうか。

仲間の中には週末になるとリラックスするためにモスクワ市内に出たり、ショッピングをしたり、ということを楽しんでいましたが、私はその場でゆっくりできればいい、というタイプです。広範囲の活動ができなくても平気な方なので、国際宇宙ステーションにいるときも同じ場所にいるということは気にならず、十分リラックスで

きました。自分で自分をコントロールするということも意識的にすることはなかったように思います。

同じ場所にいることが苦にならなかった理由として考えられるのは、なにしろ宇宙からの眺めがすばらしかったということが挙げられます。逆にいえば、完全に閉鎖された窓のない部屋だったら別かもしれません。

また、国際宇宙ステーションから地球の写真を撮ったり、ビデオに収めたりというような作業を仕事としても行っていました。それらが仕事であると同時に、ストレス発散にもなっていたのだと思います。

難しい仕事の連続ではストレスが溜まります。日常の仕事の中で一つでも気晴らしになる作業が見つけられたら、うまく配置してストレスマネジメントに役立てられればよいのではないのでしょうか。

では、私は元々ストレスに強いのかというと、正確なところは分かりませんが、訓練で鍛えられた部分が確かにあります。「鍛えられた」というのは②耐性がつくことと同時に、助けを求めることの大切さを学んだという面があります。

閉鎖的な環境で仲間と協力して過ごすという訓練、例えば屋外での「野外リーダーシップ訓練（NOLS）」もその一つです。NOLSも国際宇宙ステーションと同じように、何かトラブルがあったら「自分だけ帰る」という選択はあり得ません。すべてはチームで対応していかなければならないのです。

また、③閉鎖環境という意味で宇宙に最も近いと言われるのは、フロリダの海で行う「NASA極限環境ミッション運用（NEEMO）」訓練です。何かあってもすぐに現場から逃げられないのです。「逃げられない」というのは「無理に逃げようとする」（Ⅰ）という意味です。

④NEEMO訓練は水深約15メートルにあるバスほどの大きさの施設で行います。そのため、施設内の気圧が2.5気圧と高く、中に長期間いる人間は血液中に窒素が限界までとけ込んでしまう「飽和潜水」という状態になります。

仮に、この状態で急に水面まで上がってしまうと、血液中に溶けていた窒素が、（Ⅱ）戻り、血液の中に気泡ができてしまいます。これが肺や心臓、脳に行くとな命に関わることになります。

つまり、水中で作業中に何かトラブルがあっても、そのまま水面まで上がることができません。トラブルの対処も、NEEMO施設の中で何とかしなければいけないのです。

国際宇宙ステーションは周りが真空なので逃げられませんが、NEEMOも水と気圧によって逃げられないという点で同じような状況にあります。

それくらい何かが起こると致命的な環境なので、万が一のことを考えて訓練を始める前に遺書を書きました。訓練においてもこうした極限状態で行うことで心の面でも鍛えられていきます。

こうした閉鎖環境での訓練は宇宙でも非常に役に立ちました。施

設外に助けを求められない環境においては、まず自分のことをしっかりやるのが大事です。そして、担当が近い仲間の状況も見えて、必要であれば問題が大きくなる前にサポートする。そして、まだ余裕があるときはさらに全体の状況も見て困っている人がいれば助ける。

大変ですが、こうしたことをそれぞれが心がけることでチーム全体の目的を円滑に達成することができます。

「自分の仕事が終わったから後は関係ない」というやり方をしていると、結局はチームの成果が上がらず、自分に不利益となってしまう。会社でも似たようなことを経験した方は多いのではないのでしょうか。

いわゆるセクシヨナリズムや縦割り主義といった考え方もこうした弊害を生みがちです。これを防ぐためにはチームとしての目的を共有し、全体としてその目的に向かう意識を共有することが必要です。リーダーが方向を示し、フォロワーがそれを支えるという体制が理想的です。

また、他の人の仕事をサポートすることはその人を助けるだけでなく、全体の状況を知ることでもでき、自分の仕事をより効率化するヒントを得ることができるでしょう。（Ⅲ）の担当業務の中で「部分最適化」を行い、（Ⅳ）の状況を自分の仕事にフィードバックすることで（Ⅴ）最適化を進める。NEEMO訓練のような閉鎖環境はチーム内部での協力関係の重要さを教えてくれます。

そして、逆に自分に余裕がなく、サポートが必要な場合は抱え込

まずに、大変なら「大変だ。助けてくれ」と伝えることも大事です。これはなかなか難しいかもしれません。「弱み」を見せてしまうように思えて、素直に助けを求められない経験は誰しもあるのではないのでしょうか。

しかし、⑤それは仕事と一緒にストレスも抱え込んでしまうことになります。「助けを求めることができる」ということはストレスの原因を作らないという面でも、ストレスを抱え込まないという面でも、有効な方法です。

（中略）

宇宙飛行士の訓練では、みんなそれぞれ基礎的な能力を持っていて、チームになったときに自分のことだけでなくお互いにサポートし合うことでチームとして高いパフォーマンスを出していくことを学びました。そして、チームワークを学ぶということは、お互いのことを知るといふ側面もあります。そして、お互いの特徴を知ることとでチームになったときにどう振る舞うかということを学んでいきました。

宇宙飛行士はこうした訓練を受けていることもあり、特にストレスに強い人、ストレスの扱い方を知っている人が多いように思いますが、⑥基本となる考え方は一般的にも活用できるものです。

（古川聡『宇宙飛行士に学ぶ心の鍛え方』より）

問一

——線部①「私は大丈夫でした」とありますが、それはなぜですか。その理由を「性格」「環境」の二つの視点から、それぞれ二十字以内で答えなさい。

問二

——線部②「耐性がつく」の意味として最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ねばり強くがまんできるようになる
イ 早く対応できるようになる
ウ 気持ちを和らげることができる
エ 力を抜いて休めるようになる

問三

——線部③「閉鎖環境」とありますが、ここではどのような環境のことですか。本文中から十五字で抜き出して答えなさい。

問四

本文中の（Ⅰ）に当てはまる五字の言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

問五

——線部④「NEMO訓練」とありますが、このような閉鎖環境での経験から筆者が学んだことを簡潔にまとめた箇所を本文中から十五字で抜き出して答えなさい。

問六 本文中の（Ⅱ）に当てはまる言葉を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 気圧が下がることで液体に
- イ 気圧が下がることで気体に
- ウ 気圧が上がることで固体に
- エ 気圧が上がることで気体に

問七 本文中の（Ⅲ）～（Ⅴ）には「自分」または「全体」のいずれかが入ります。「自分」が入る場合はアを、「全体」が入る場合はイを、それぞれ答えなさい。

問八 — 線部⑤「それ」が指す内容を十五字以内で答えなさい。

問九 — 線部⑥「基本となる考え方」とありますが、閉鎖環境でストレスをためないために、筆者はどのようにすればよいと考えていますか。筆者の考えと合うものを次のア～カの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日常の作業の中で小さな工夫や気分転換を取り入れることが、閉鎖環境でうまく過ごす方法だと考えている。
- イ 自分の担当の仕事だけを片づければ十分であり、他の人の仕事にはかかわらないことが望ましいと考えている。

ウ 行き詰まったときには一人で抱え込まず、素直に周囲に助けを求めることが重要だと考えている。

エ 困難な状況では全体の目的よりも各自の自由を重視し、それぞれが好きに過ごすことを優先すべきだと考えている。

オ 日常の仕事の中に気晴らしになる作業を見つけ出し、うまく組み合わせることで心を和らげることができると考えている。

カ 閉鎖された環境では必ず強い負担がたまるため、どのように工夫しても避けることはできないと考えている。

問十 あなたがこれまでに参加したチーム（学級・行事・習い事など）の中で果たしてきた役割を振り返り、そこで考えたこと、学んだことを二百字以内で書きなさい。

二

次のカタカナの文章を読んで、漢字とひらがなと読点を正しく用いて書き直しなさい。

コクホウトハジュウヨウブンカザイノナカデトクニ
ブンカテキガクジュツテキカチガタカイトミトメラ
レタケンゾウブツヤビジュツヒンレキシシヨナドノ
カタチアルブンカザイヲサシマス。コテンゲイノウ
ヲエンジタリデントウコウゲイヒンヲセイサクシタ
リスルヒトタチニタイスルニンゲンコクホウトイウ
ヨビカタハワザニタイスルカチヲミトメルモノデメ
ニミエルモノトハカギリマセン。

三

次の(1)～(5)の——線部の漢字をひらがなに、(6)～(10)の——線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- (1) ようやく事件の真相がわかった。
- (2) 今年はサンマが豊漁だ。
- (3) 彼こそこのチームの要だ。
- (4) お墓に線香とお花を供える。
- (5) 提案に異を唱える。
- (6) 六年生をタイショウとした調査。
- (7) 赤やオレンジをダンシヨクという。
- (8) マジメな顔で先生の話聞く。
- (9) 以前立てた計画をサイコウする。
- (10) 到着したらタダちに連絡する。

四

次の(1)～(5)の()にあてはまる、【】内のようすをあらわす語として最もふさわしいものを、それぞれア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 赤ちゃんが、お母さんを見て() 笑っている。

【うれしそうに楽しげに笑うようす】

ア くすくす イ にこにこ ウ げらげら
エ にやにや

(2) 試合前で、胸が() して落ち着かない。

【緊張で心臓が高鳴るようす】

ア ときどき イ わくわく ウ そわそわ
エ はらはら

(3) 妹は転んで、血が() とにじみ出てきた。

【少しずつ出てくるようす】

ア どぼどぼ イ ぼたぼた ウ たらたら
エ じわじわ

(4) 星が() と光っていて、とてもきれいだ。

【小さく美しく輝くようす】

ア ぎらぎら イ さんさん ウ きらきら
エ ちらちら

(5) 風が木の葉を() とゆらしている。

【やさしい風の吹くようす】

ア はらはら イ びゅうびゅう ウ ごうごう
エ そよそよ

